

医療過誤から 患者の人権を

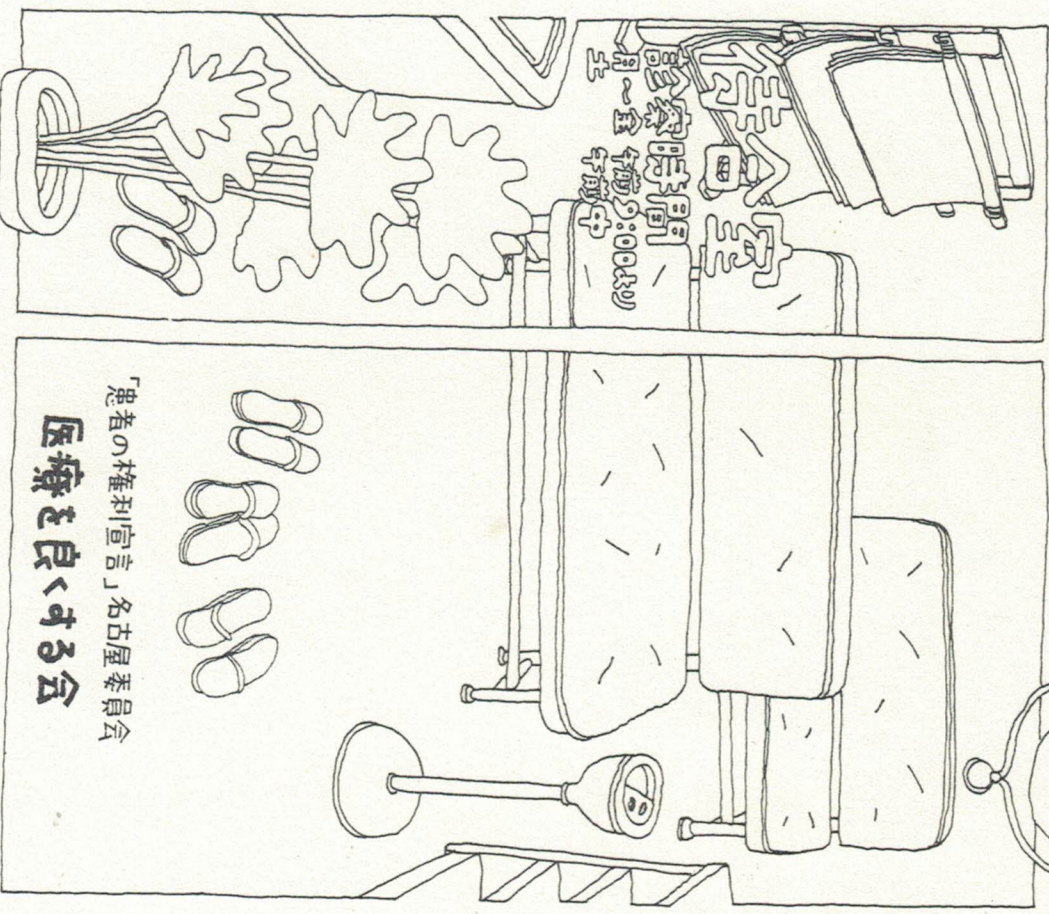
弁護士
加藤良夫 著

ぶどう社



患者の権利は何？

医者にかかる前に



「患者の権利宣言」名古屋委員会
医療を良くする会

〒460 名古屋市中区栄4丁目16番23号 TEL 052 (263) 4187

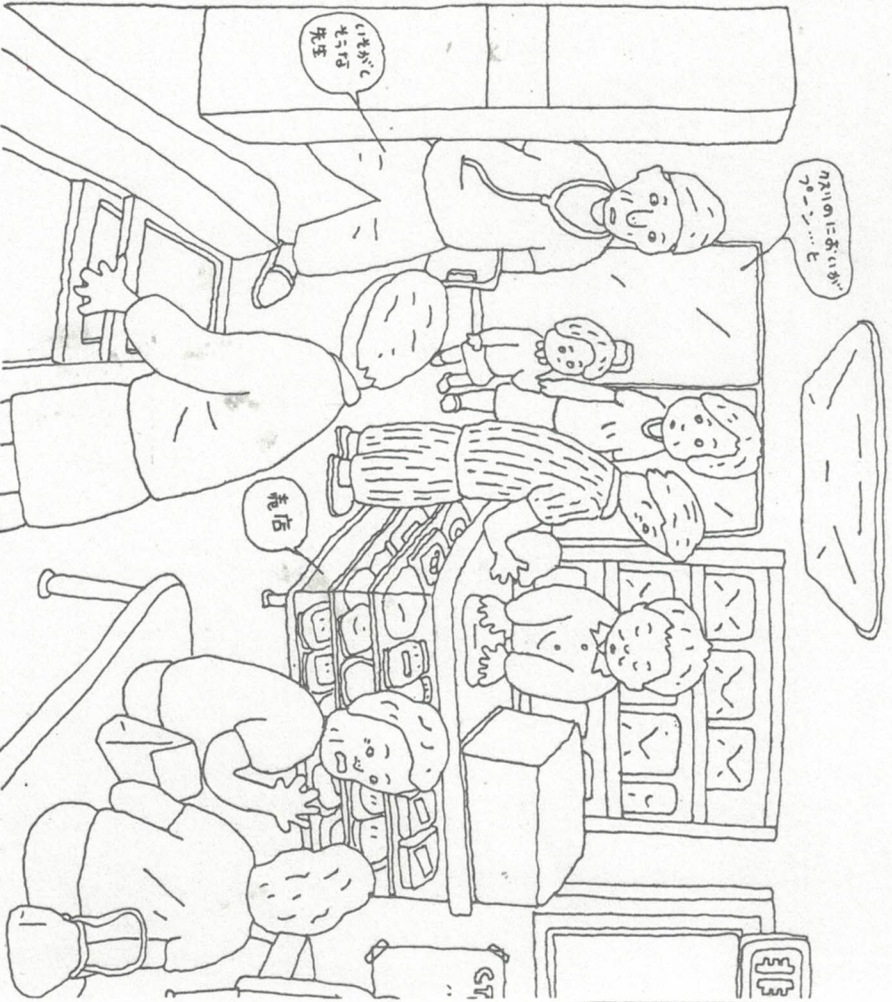
はじめに



わたしたち患者は、検査や投薬の対象ではなく医療の主人公です。わたしたちは、病状、治療の内容などについて、医師から十分に説明を受けているでしょうか……。

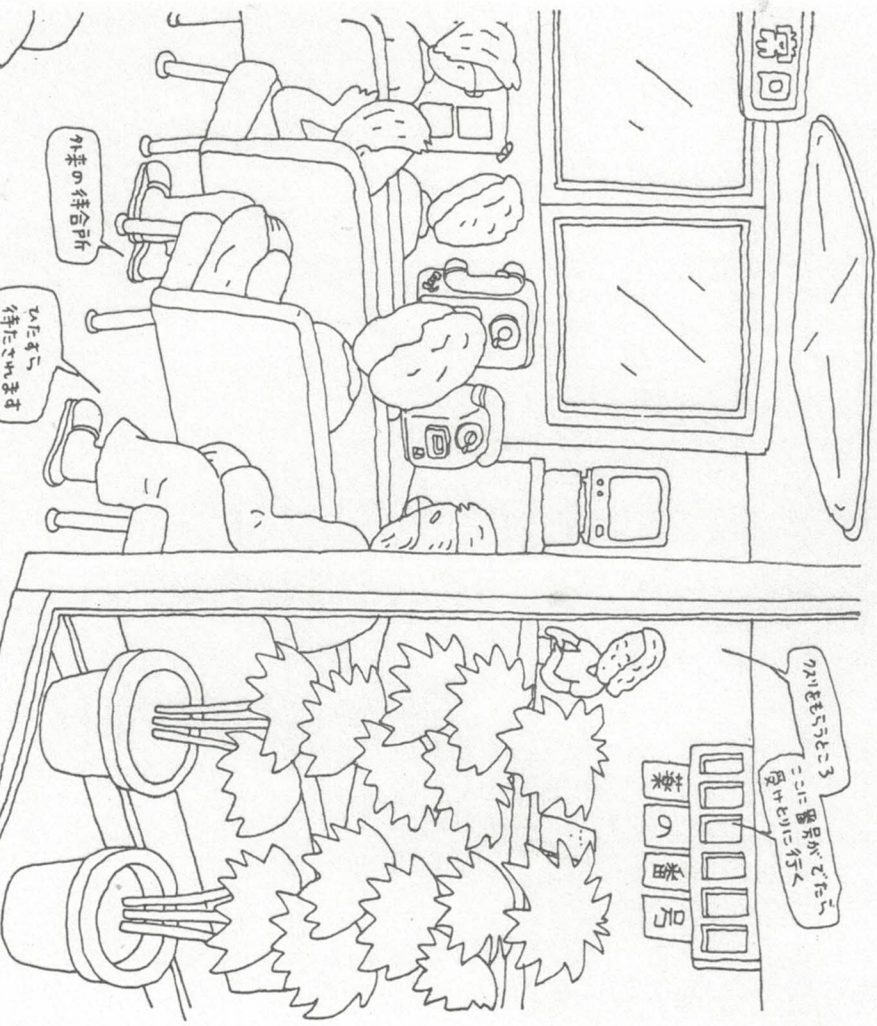
わたしたち患者は、医師に遠慮し、いろいろのことを たずねにくい雰囲気を感じています。

わたしたちは、医師にかかった時、何きどのように たずねたらよいのでしょうか。



このパンフレットは、わたしたちの手で「薬づけ」「検査づけ」の医療の弊害をなくし、もっと納得のできる医療を受けていくために、末尾に掲載した「患者の権利」の理念からつくられたものです。

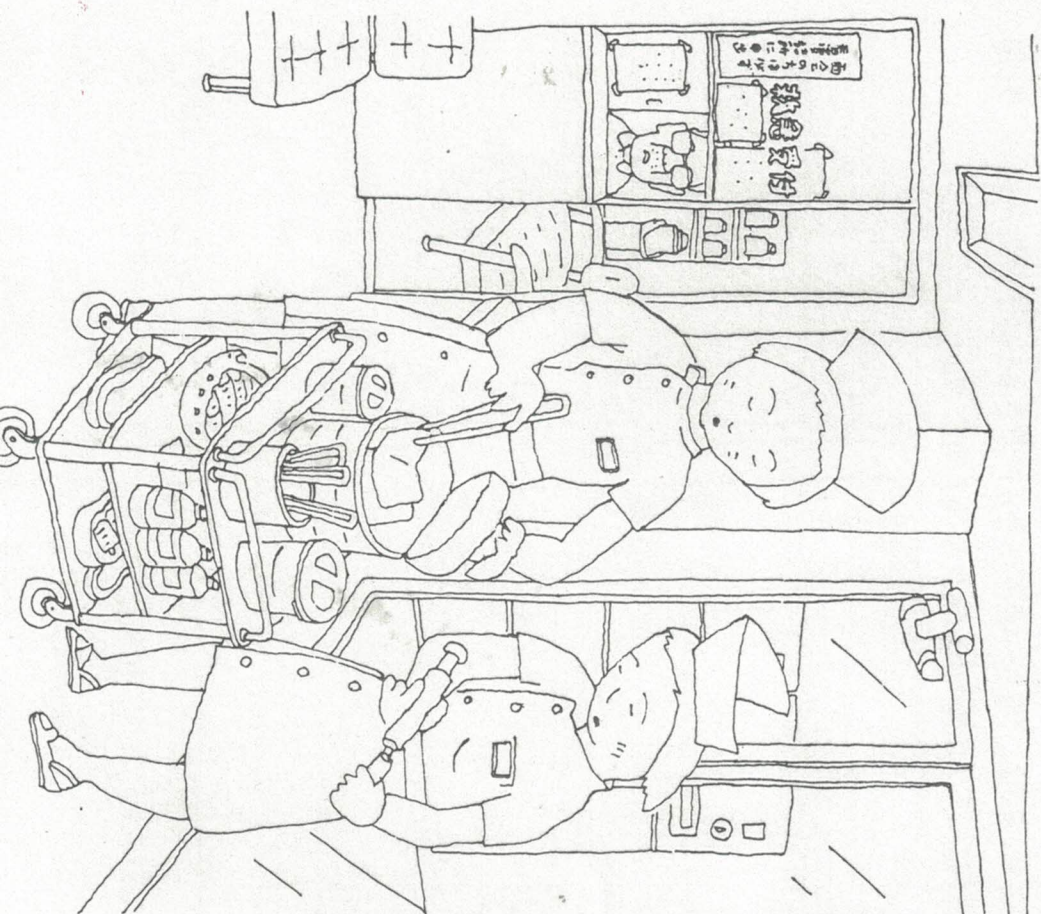
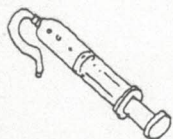
わたしたちは、人生決定権を持っています。自分の人生を自分で決定し、『自分の健康は自分で守る』という自覚をもち、医療制度にもっと関心を向けたいものです。



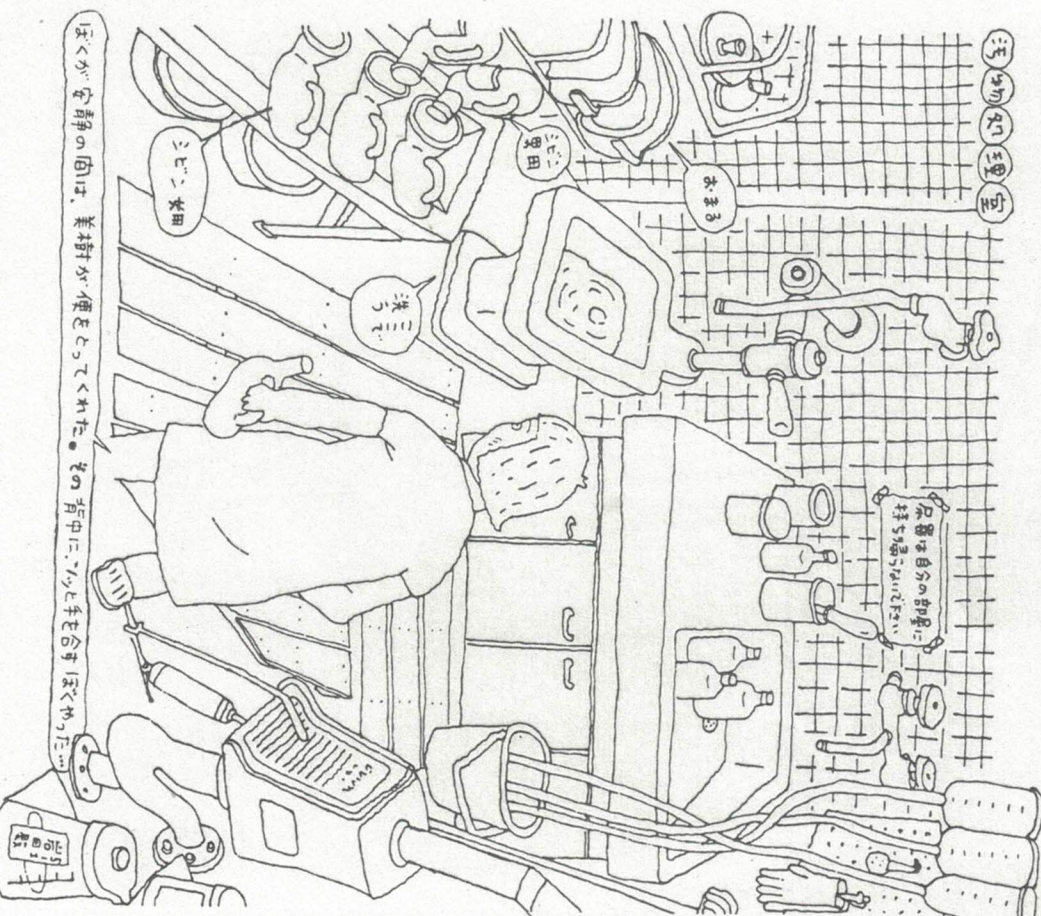
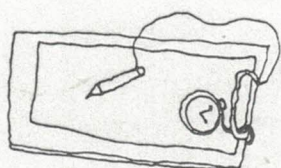
検査

検査には、苦痛や危険がともなうものもあります。

検査を受ける前に、その検査の必要性、危険性などについて詳しく説明してもらいましょう。検査を受けたら、その結果を必ず報告してもらいましょう。



- 1 ● この検査では、どんなことをするのでですか？
- 2 ● この検査で、どんなことがわかるのですか？
- 3 ● この検査には、どんな危険がありますか？
- 4 ● この検査でいふかったら、どんな不都合が生じますか？
- 5 ● 先日の検査の結果はいかがでしたか？



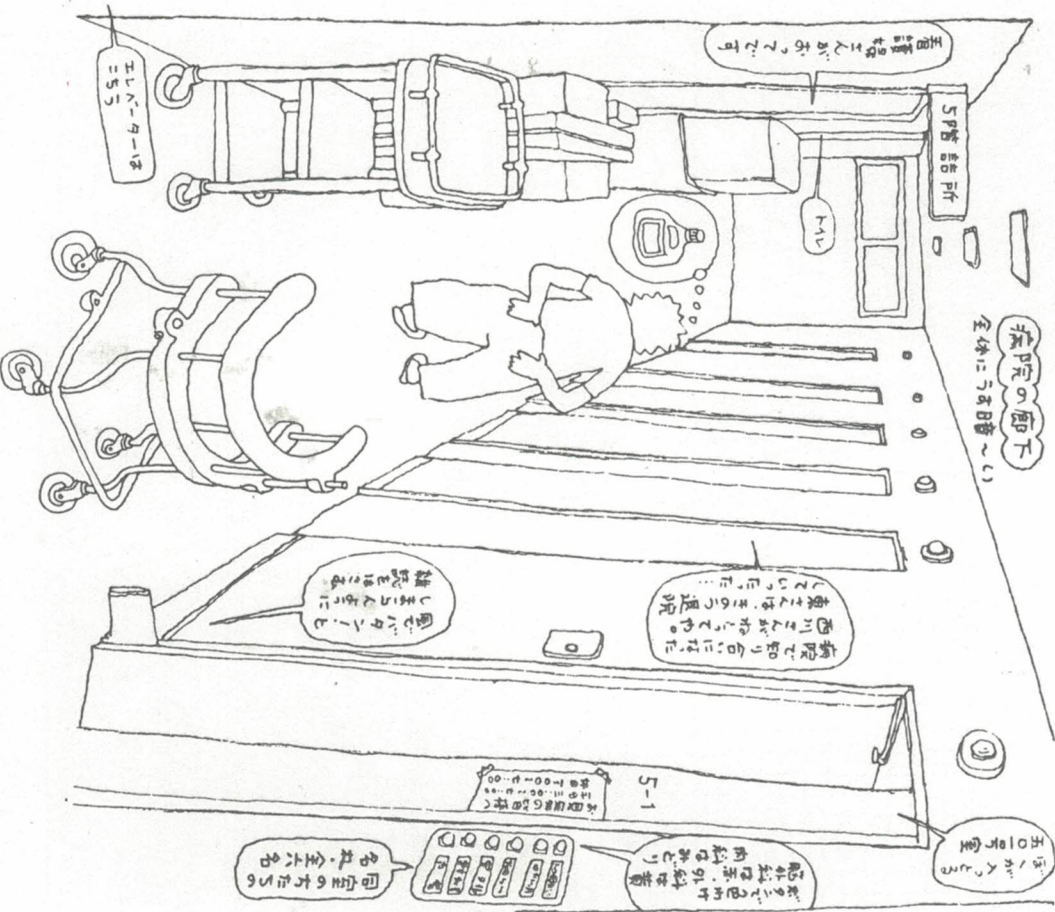
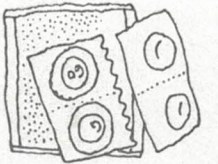
ほか、安静の図は、美樹が便をうてくれた。その直中に、ハッとして合点した。

薬

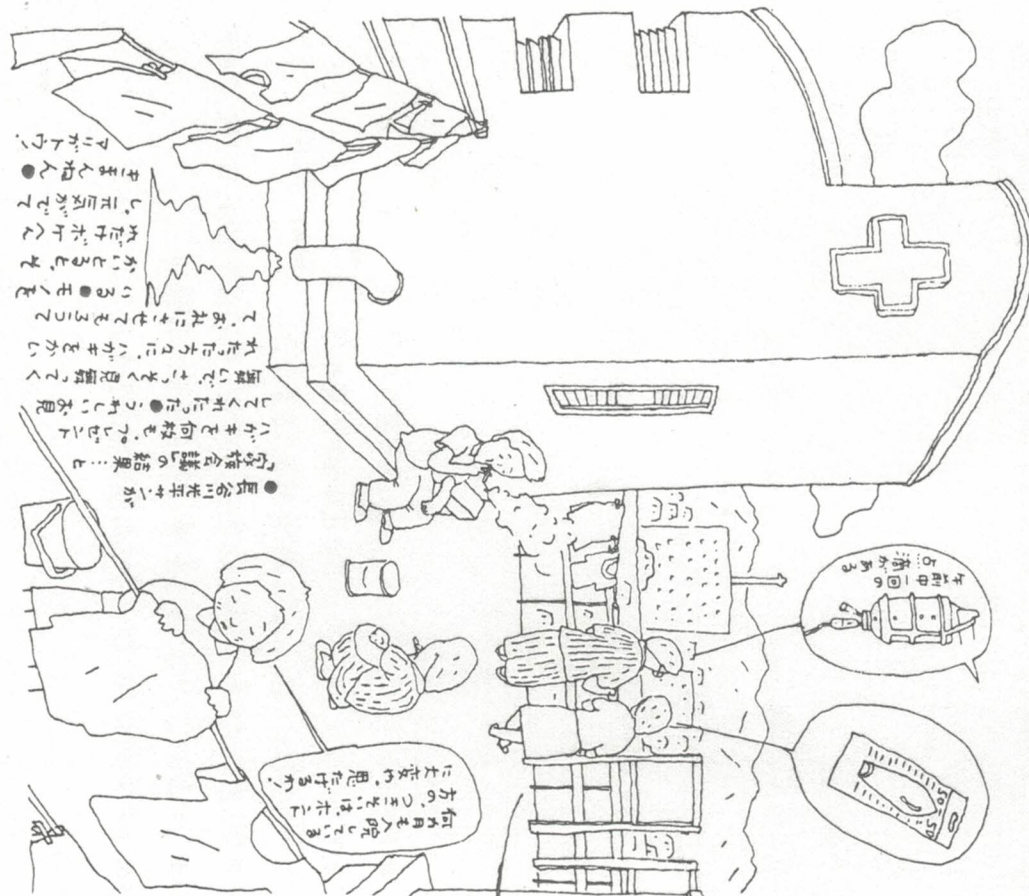
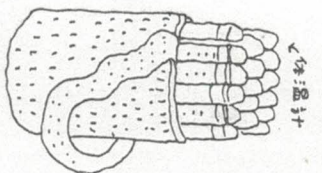
薬には副作用があり、薬害も発生しています。

また、中には効果の乏しい薬もあります。

薬を受けとる前に、その薬の必要性、危険性などについて詳しく説明をもらいましょう。



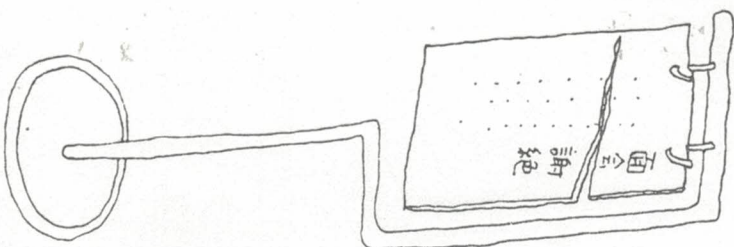
- 1● この薬は、何という名前の薬ですか？
- 2● この薬は、何に効くのですか？
- 3● この薬には、どんな副作用がありますか？
- 4● この薬は、他の薬と一緒に飲んでも大丈夫ですか？
- 5● この薬を飲まないで、どんな不都合が生じますか？



手術

手術には、危険が伴います。

手術の必要性について、内科医と外科医の見解が分れることもあります。

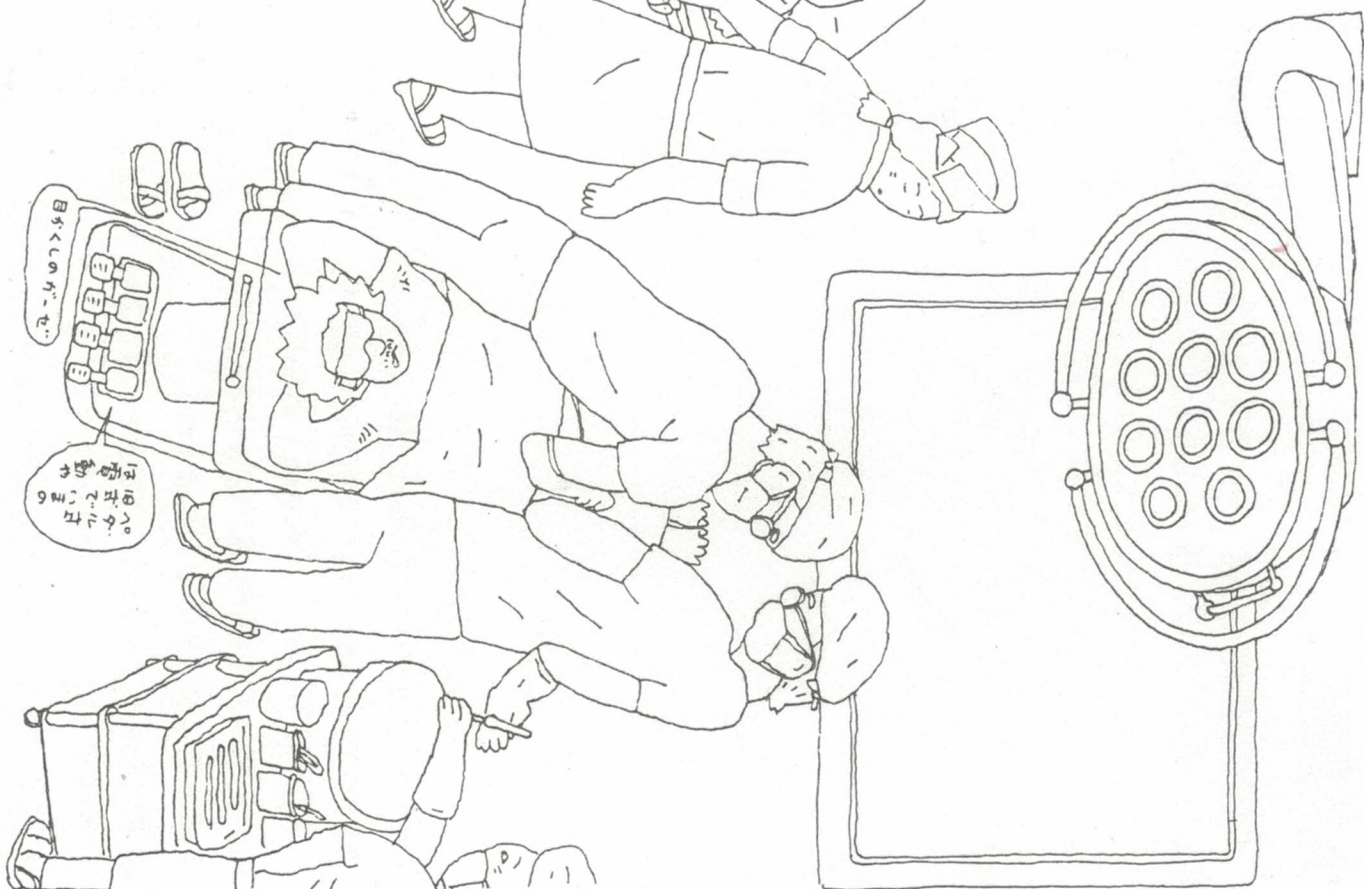
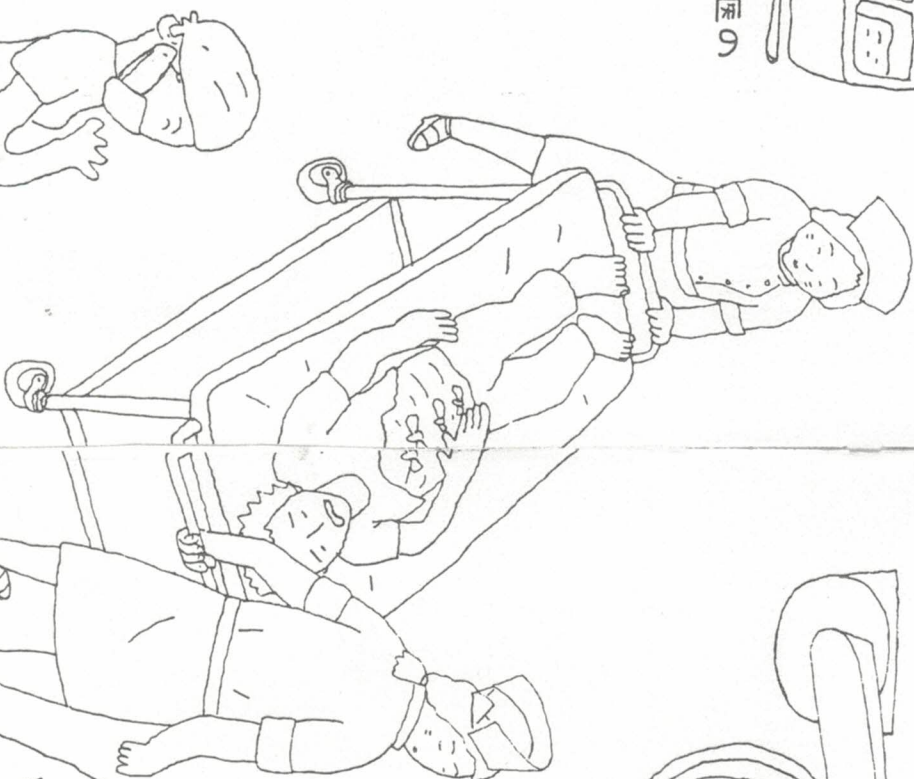


- 1● その手術をきかぬと、どうなりますか？
- 2● その手術では、どんなことをするのですか？
- 3● その手術には、どんな危険がありますか？

4● その手術をした後、毎日の生活の中で、どんな不都合が生じますか？

5● これまでに、その手術を受けた人たちの成果は？

6● その手術について、レベルの高い病院はどこですか？



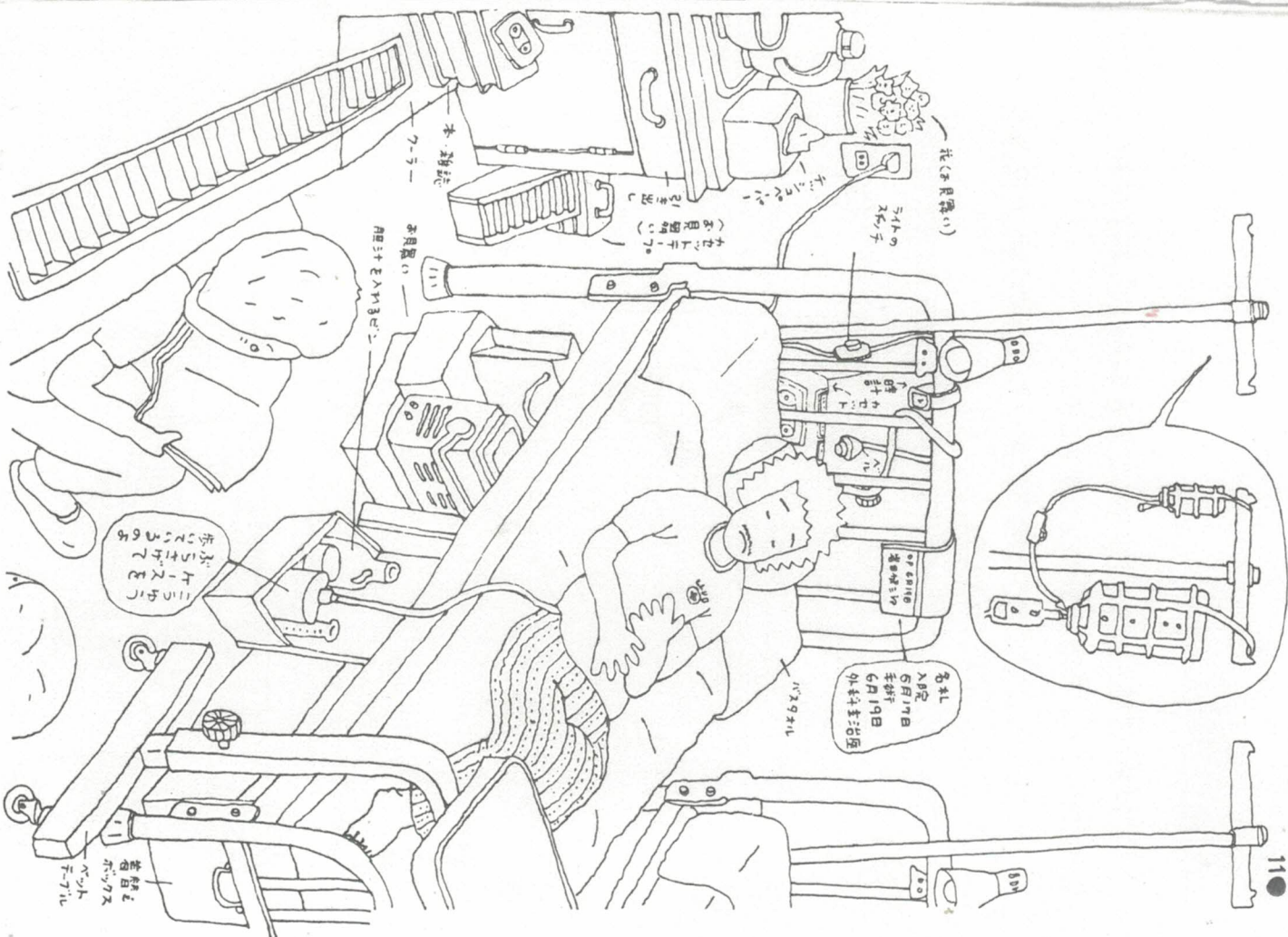
医者選び

わたしたち患者が「医者にかかる時、まず第一に「医療知識が豊富で、優れた技術と備えた医者を選びたい」と思います。

そして次に、「医者と患者」という前に「おたがいに人として、心を通わせることができる」というすばらしいと思います。

あなたが選んだ「医者から、わたりの心」が伝わってきますか？

- 1●あなたの病状などを「いねい」に詳しく「たずねて」くれますか？
- 2●診断、処置などについて、わかりやすく「説明」してくれますか？
そして、あなたが「たずねやすい」雰囲気がありますか？
- 3●より高度の医療機関、専門医を紹介してくれますか？
- 4●待合室は「禁煙」になっていますか？
- 5●案内表示が「わかりやすく」、ポスターやパンフレットで「健康・療養の」情報サービスが「示されています」か？
- 6●職員が「明るく、いきいき」としていますか？

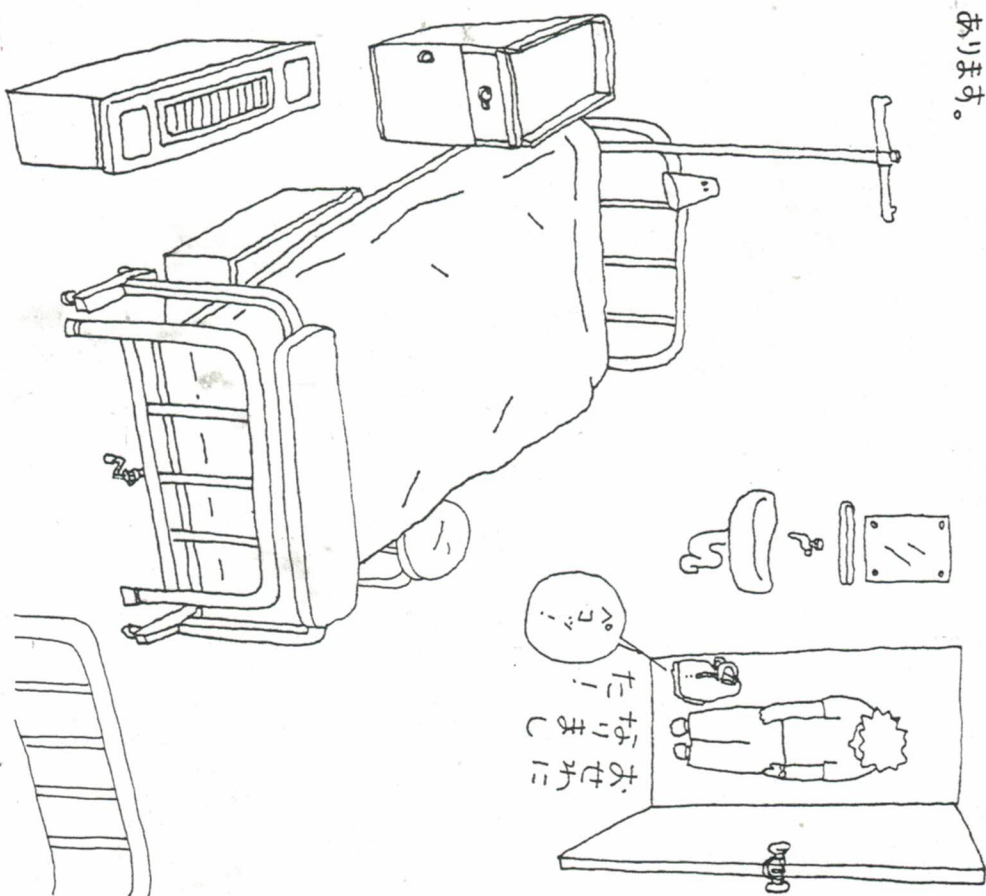


患者の権利

アメリカ病院協会では、1973年に消費者運動や医療裁判の影響を受けて「患者の権利」を宣言しました。

1981年には、世界医師会総会において、患者の権利に関するリスボン宣言が採択されました。

病院の中に、患者の権利を守る権利擁護官を西置している国もあります。



提案

- 1● 病気は、あなた自身の問題です。
受け身の受診態度を改めましょう。たとえば、入院したら入院日誌をつけましょう。子供の具合の悪い時は、よく観察をして体温や容体の変化をメモしておくようにしましょう。
- 2● 医療をみつめる目を、たしかなものにするために、医療や健康に関する勉強をしましょう。
- 3● 医療機関、医師に関する情報を集め、わたしたちの目で正しい選択をしましょう。
- 4● 医療機関から薬や検査、療養指導に関するパンフレットをもらいましょう。
- 5● 市民グループの会合に医師の参加を求め、もと交流を深めましょう。
- 6● 同じような病気や治療の経験をもっている人の情報を集めましょう。
- 7● 医と食は密接に関連しています。日々の食事、睡眠、スポーツも健康にとって大切です。
- 8● 医療被害にあったら、泣きねいりしないで、医療問題に詳しい弁護士に相談しましょう。

●本文中のイラストレーション(絵)は、1家ぐ(岩田健三郎)が、胆石で入院していたときに、病室で発行したミニコミを元になていいます。

